

平成24年度新規就農者支援活動助成事業

事業主体名 南九州市担い手育成総合支援協議会

【かわなべ農 meets プロジェクト事業】

1 目的

南九州市の基幹産業である農業は、畑作中心の営農が展開されており、県内でも有数の農業地帯である。しかし、農産物の価格低下など農業を取り巻く情勢が一段と厳しくなるなか、農業者の高齢化も進んでおり、農業の担い手確保は急務となっている。

当協議会において農業後継者への就農支援を行い、青年クラブにおいても、プロジェクト活動を通じて技術や経営管理の向上支援を行い、自立する担い手を育成しているが、近年の就農形態が多様化しているため、十分な支援が行えていない状況となっているため、将来を担う農業後継者の育成・確保の一環として、このプロジェクト事業を通じて出会いが生まれるばかりでなく、地域の青年農業者で組織する青年クラブの活動促進に繋がる。また、参加女性へは、農業体験を通して農業の楽しさ、すばらしさを伝え、仕事に一生懸命で農業を愛する青年たちを紹介することを目的とする。

2 実施状況

(1) 農業体験（みかん狩り、乳搾り等）の実施

恋の大収穫祭と銘打って行った当日、みかん狩りでは甘いみかんの見分け方・収穫方法の説明を受け、男女混合グループに分かれ、重さ計りゲーム等で交流を深めた。搾乳体験・バターづくりでは、初めての方も多く戸惑いながらも男性が女性をサポートしながら農業体験を楽しんでいた。

某テレビ番組の「お見合い回転寿司」を参考に1分間の自己紹介を行った後ということもあり、打ち解けて農業体験を楽しむことができた。

この体験を通して、女性参加者から、貴重な体験ができたので嬉しかったという声や、搾乳体験では、男性を見る目が変わったとの声をいただいた。

(2) 交流会、地元農産物等のPR活動の実施

バイキングによる立食方式で地元食材を使用した昔ながらの味を楽しみながら、地元飲食店厳選のスイーツで盛り上がり、交流を深めた。青年クラブ員が生産した米や茶、川辺の誇る川辺焼等の特産品をお土産とし、PR活動を行った。

3 まとめ

日常の作業で忙しい中、夜に実行委員会を8回開催し、初めての試みながら何とかおもてなしの心を持って無事終えることができた。結果としては、6組のカップルが成立したが、出会いだけでなく当初の目的であった農業を知ってもらうということも達成できた。この事業を機に4Hクラブへの新規加入を決めた農業青年もおり、今後のクラブの活動促進が期待できる。

